

1. 知的障害児（者）の認定基準について

IQ 70 以下

<https://www.sgenable.sg/about-us/our-impact/disability-in-singapore>

<https://www.enablingguide.sg/disability-info/intellectual-disability>

2. 知的障害児（者）への支援内容

国が発行する知的障害の証明の有無は不明（公表されていない）。

※国民個人の申し出により、支援サービスが提供され、そのサービス内容も

個人によって異なるため、制度化された画一的な運用ではない。

2019 年国会での答弁記録によると、知的障害に限らず全般的に個人個人が「障害」の基準に該当するか否かを判断する際に、医療専門家またはセラピストなどの適切な非医療専門家によって医学的な評価と検査が行われる。

参照：<https://www.msf.gov.sg/media-room/article/Definition-of-Disability-for-Social-Policies>

0-6 歳の子供に対し、Early Intervention Programme for Infants and Children (EIPIC) がある。子供へのセラピーや早期介入治療を行う。治療に対する政府補助金もある。これらの制度を利用するための最初の要件として、KK 婦人科・小児科病院、NUS 大学病院、SGH 総合病院、または私立の小児科医からの紹介が必要となる。

<https://www.enablingguide.sg/im-looking-for-disability-support/therapy-intervention/early-intervention-programme-for-infants-children>

保護者へのサポートとして、day-care（日中預ける施設）、home-based care（在宅での支援）のサポート（例：ヘルパーを雇うサポート、介護人への訓練）がある。

<https://www.enablingguide.sg/im-looking-for-disability-support/child-adult-care#ProvidingCareAtHome>

就職、就労支援については、学生や成人に対して技術の取得の支援を行っている。

例：技術取得できるセンターの紹介やアドバイスの提供。

障害者も受けられる研修プログラムの紹介サポート。

それらのサービス費用に対する政府の補助金もある。

障害者を雇う会社は、政府の支援・補助金を受けられる場合がある。

例：障害者の給料の補助。

障害者スタッフのための補助器具やソフトウェアの購入のための補助。

障害者も仕事をしやすくするための職場改良工事への補助。

<https://www.enablingguide.sg/im-looking-for-disability-support/training-employment>

他の支援として、幼稚園等の教育支援（政府補助金）、介護人への訓練支援、財務企画の手伝い、SkillsFuture Credits による技術取得や研修機会がある。

<https://www.enablingguide.sg/im-looking-for-disability-support/money-matters>

3. 知的障害児（者）が「犯罪加害者」にならないための支援の担い手には、どのようなものがあるか。また、それぞれの担い手がどのような役割を果たし、どのような支援を行っているか。

知的障害児（者）が「犯罪加害者」にならないための取組は特に行われていない。

（実際に「加害者」にならないための予防取組の資料や根拠は見付からなかった。SGEnable、MINDS (myg.org.sg) のウェブサイト等を見ても、一般的な教育・教養プログラムとして社会に貢献できるようになるための支援とプログラムに焦点を当てている。）

4. 知的障害児（者）の福祉と刑事司法の連携の制度が存在するか。存在する場合、その制度の内容は。

1. 警察の取り調べのときに、理解力やコミュニケーション力が不足している障害者を一人にさせないスキームがあり、訓練を受けたボランティアが取り調べに同席する。その目的は3つあり、以下のとおりである。

- ・ コミュニケーションをサポートするため。
- ・ 障害者への精神的なサポートをするため。
- ・ 警察による圧力を防止するため。

現在、16歳以下の健常者である容疑者に対し取り調べを行う際に、このスキームは採用されている。今後、17歳（健常者）の容疑者にも本スキームを採用する方向で準備が進められている。

国会答弁記録（ボランティアの人数を含める）

<https://www.mha.gov.sg/mediaroom/parliamentary/oral-reply-to-pq-on-number-of-instances-where-an-appropriate-adult-was-not-present-in-interviews-with-young-or-mentally-disabled-suspects-in-the-past-five-years/>

法律説明ウェブサイト（非政府）

<https://singaporelegaladvice.com/law-articles/appropriate-adult-scheme-singapore/>
Straits Times 記事

<https://www.straitstimes.com/singapore/courts-crime/new-scheme-to-help-persons-with-developmental-disabilities-during-police>

2. シンガポールの刑法には、知的障害者を配慮した条項はない。

例：新聞報道によると、最低期間の懲役が付いている犯罪において、裁判官は自己の裁量で懲役期間を減刑することができない。

Today newspaper 記事

<https://www.todayonline.com/singapore/teen-rapist-case-severely-limited-options-sentencing-intellectually-disabled-offenders>

5. 知的障害児（者）が仮に「犯罪加害者」になってしまった場合、矯正施設を退所した知的障害児（者）の支援に特化した入所型施設は存在するか。存在する場合、その支援の内容は。

不明。情報は見つからなかった。